

令和元年度 高志中学校卒業式 式辞

第3回高志中学校「卒業証書授与式」に当たり、PTA会長、朝倉邦真様、副会長、岡田乃布彦様をはじめ、保護者の皆様のご臨席を賜り、卒業生の皆さんを祝福できる機会を設けることができたことは、大きな喜びであります。卒業生はもとより、教職員、そして残念ながら出席できなかつた在校生を代表しまして、心からお礼申し上げます。

ただ今、90名の皆さんに、卒業証書を授与いたしました。保護者の皆様には、お子様が卒業の日を迎えられ、さぞ、お喜びのことと存じます。教職員を代表し、心からお祝い申し上げますとともに、これまで、本校にお寄せいただきました、ご理解とご協力に対し、深く感謝を申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。平成29年4月7日、この体育館で入学式を行い、早3年が過ぎました。この日は皆さんが、高志中学校の生徒として歩み出した最初の日でした。実は私にとっても、初めて校長となり最初の公式行事でした。皆さんと一緒にとても緊張していたことを、今も鮮明に覚えています。

以来、3期生の皆さんの高志中学校の生徒としての成長の歩みは、同時に、私にとっても、校長という役割・責務について勉強させていただき歩みでもありました。自分自身の存在意義は何か。誰も正解を教えてくれない問いに対し、日々自問自答してきましたが、実は未だに答えを見つけ出せていません。

私が高校生頃から心がけてきたことがあります。

「やらずに後悔するより、やってみて後悔しよう。」

この精神を中学生の皆さんに伝えられたら、と思い、これまで幾度となくあいさつの中で、言葉を変えて表現し続けてきました。今日は、校長としてお話する最後の機会です。今一度、皆さんに、「一歩踏み出す勇気とチャレンジ」についてお話します。

高志中学校が目指す生徒像は、「未来を切り拓き、新しい時代を創るイノベータとなる人材」です。それは、「新しい時代に対応できる人材」でなく、「新しい時代に求められる人材」でもありません。「新しい時代そのものを創り上げる人材」です。ゼロから1を生み出せる人材です。

目の前にチャンスがやってきた時、もしくはチャンスを見つけ出した時、皆さんは、過去の経験や蓄えてきた知識をもとに、行動を起こすことによるメリット・デメリットと、行動しないことによるメリット・デメリットを予測し、どちらを選択するか判断するでしょう。そのように考えることは、決して間違いではありません。なぜなら、私たちは、プロセスではなく結果によって評価されることを知っているからです。

特に、大人の社会では、当初見込んだ結果を出して当たり前で、期待以上の成果を出すことが評価につながるので、リスクとリターンをよりシビアに計算して、慎重に判断することになります。

しかし、幸いなことに、皆さんはまだ学生です。そしてここは、学校です。失敗と成功

を積み重ねながら、遠回りしてでもいい、その結果に至るまでのプロセスこそが重要です。その経験を存分に積めるのが学校という場であり、学生という時間です。結果を恐れず、思い切ってチャレンジできるのは、まさに今です。

チャレンジするには、チャンスをつかみ取らなければなりません。競争や制約の中で、チャレンジの権利を得ることができるのは、ごく限られた者だからです。しかし、学生のうちは、チャレンジできる機会が公平・公正に確保されています。中学生や高校生の特権と言えるでしょう。皆さんはチャレンジできる数々のチャンスを、見逃してはいませんか。

高校に進むと、皆さん一人ひとりの夢を実現に近づけるチャンスが用意されています。しかし、どのような道が用意されていようとも、その道を進もうとする強い意志が自分自身になれば前進しません。志が必要です。言い換えると、あることを目指す強い信念とそれを目指す真の狙いです。

真の狙いをしっかりと持っていれば、目指す過程で困難に直面しても、思い通りの成果が出ないことがあっても、姿勢、即ち心の体幹がぶれることはないでしょう。皆さん一人ひとりが、自分が目指そうとしていることの真の狙いを明確に持ち、チャンスを活かし、志の実現に向けて、小さな一歩でもいいので踏み出してください。

3期生の皆さんは、1期生や2期生とともに、高志中学校の歴史を切り拓き、築き上げてきました。そして、先輩たちが成しえなかった「英語検定準2級 全員合格」という偉業を遂に達成してくれました。さらに、準2級に満足することなくチャレンジし続け、準1級の4人を含め、50人が2級以上を獲得しました。

先輩たちが積み上げてきた高志中学校の礎の上に、また一つ、歴史を刻み込んでくれました。

この歴史・文化・校風をしっかりと根付かせ、さらに中高一貫校として発展させていくには、高校に進んだ皆さんや中学生の後輩たち、そして、中学校と高校の教職員が、足踏みすることなく、新たなこと、未知なることにチャレンジしていくことが必要不可欠です。一歩を踏み出そうとする意思がなければ、行動に移さなければ、変化が生まれることはありません。

皆さんの活躍のステージは、いよいよ高校へとステップアップします。結果に固執せず、大いにチャレンジし、失敗や成功を積み重ねて、やがて出て行くことになる大海原で活躍する力を、この緑葉で培うことを祈っています。

卒業生の皆さんが、未来を切り拓き、新たな時代を築くイノベータとして、挑戦し続けることを切に願い、式辞といたします。

33年後の6月第2土曜日。高志高校同窓会総会が開催されます。幹事学年となった皆さんがどのように成長したか、その勇姿を拝見することを心待ちにしています。

令和2年3月24日

福井県立高志中学校長 山川満寛